

幸手市立さくら小学校 学校評価（7月実施）結果概要

- 保護者アンケートにおいて、「1わかる授業」「3よさを伸ばす指導」「5思いやりの心」「6時間やきまり」「9教育相談体制」「13掲示物」「14潤いのある環境」「15安全な生活」「16登下校」「18情報発信」「22教職員の適切な応対」については95%以上が肯定的な意見であった。
- 教職員アンケートにおいて、「1わかる授業」「2話の聞き方」「3よさを伸ばす指導」「5思いやりの心」「6時間やきまり」「7あいさつ」「9教育相談体制」「10家庭学習」「12清掃」「13掲示物」「15安全な生活」「16登下校」「22教職員の適切な応対」については100%肯定的な意見であった。
- 児童アンケートにおいて、「1わかる授業」「6時間やきまり」「12清掃」「13掲示物」「14潤いのある環境」「16登下校」については95%以上が肯定的な意見であった。
- 保護者、教職員、児童ともに肯定的な意見が多かったのは、「1わかる授業」「6時間やきまり」「13掲示物」「16登下校」「22教職員の適切な応対（児童はなし）」であった。
- △保護者アンケートにおいて、「2話の聞き方」「4ICT活用」「7あいさつ」「10家庭学習」「11言葉づかい」「17地域学校行事」については15%以上が否定的な意見であった。
- △教職員アンケートにおいて、「14潤いのある環境」「17地域学校行事」「23働き方改革」については25%以上が否定的な意見であった。
- △児童アンケートにおいて、「8体力向上」「10家庭学習」「17110番の家」については15%以上が否定的な意見であった。
- △保護者、教職員ともに否定的な意見が多かったのは、「17地域学校行事」であった。

保護者アンケートより

◎授業や学習等に関わること

- ・タブレット学習は、子供の眼のことを考えると、まだやらなくてよいと思っている。紙での学習や宿題がありがたい。
- ・タブレット学習をやめてほしい。必要性を感じない。
- ・タブレットの持ち帰りをやめてほしい。持ち帰ってゲームをしていることがある。
- ・夏休み前にタブレットを持ち帰ってきたが、何も説明がなかった。高価なものなので説明不足に困惑している。
- ・児童の中で、提出すべき課題などを出せていないような状態で、かつ家庭ではどうしても取り組むことが困難な児童に対しては、親の同意が以前からあるならば、必要に応じて、その児童を放課後に残し、取り組ませ、たとえ不完全でも提出はさせるなど、勤勉さや自分の行動の責任を持つことの大切さを指導する一助となる対応をお願いしたい。
- ・わからないことは先生に相談するように家庭では指導していても、実際に先生に相談すると、自分たちで解決するようになどとあしられることがある。家庭での指導も困る。

⇒学習用タブレットが導入され、5年ほど経ちます。本校においては、個別最適な学びを進めるため、各教科等の授業の必要な場面で、発達段階に応じて活用してまいりました。タブレットを活用して学習することの成果や課題も見えてきたところです。日常生活における営みをICTを通じて行うことが当たり前となっている現代社会において、手段としてICTを積極的に活用していくことが求められます。文部科学省から「タブレット端末

を文房具として扱う」と通知されているとおり、学校においては、タブレット端末を日常的に活用することでICTの活用が特別なことではなく当たり前のこととなるようにしていかなければなりません。今後は、これまで行ってきたノートと鉛筆を使っての学習とICTを活用しての学習をうまく調和させた授業を進めていきます。ICT機器を使うことによる健康への影響の観点やSNSによる被害防止など情報モラルの観点からも、ICTを適切に活用できる力を児童に育成することも推進してまいります。また、活用方法など保護者の皆様にもお知らせし、ご家庭でもタブレット活用をより進められるようにしていきます。

宿題などの家庭学習につきましては、毎日お忙しい中、見届けていただきありがとうございます。児童にやり抜く力を育てることは、学校と家庭の役割であると考えます。家庭学習に限らず、学校と各ご家庭が一体となって、児童の根気強さを育てていくことができるようご協力をお願いいたします。

何かあった時の対応については、各ご家庭と連携を密にし、相談しながら進めてまいります。しかしながら、児童の発達段階やその時の状況により、対応に変わりがある場合もありますことご理解ください。あわせて自分のことは自分で解決できる自立心を育てることができるようご協力をお願いいたします。

◎安全に関わること

- ・下校時刻から2時間たっても帰ってこなかったことがあった。また、決められた通学路でない道から帰ってくるということがあったので、子供に注意した。
- ・下校時に車が来ていることが分かっているが、ふざけて避けないで車に向かって立っている児童がいた。
- ・いまだにキックボードを移動手段にしている児童がいる。
- ・登校時、道路に広がっていたり、高学年と低学年が分断していたりする様子を見かけた。登校班で登校することの意味を改めて子供たちに説明した方がよいのではないか。
- ・避難経路等の掲示など学校の安全面における配慮については、学校内をそのような視点で見たことがなかったので、今後見てみたい。

⇒多くの保護者の皆様に登下校の見守りをしていただいていること、感謝申し上げます。学校内でも、避難訓練や交通安全教室、一斉下校など適切な時期に様々な安全指導を行い、自分の命は自分で守ることができる児童を育成できるようにしています。しかしながら、登下校中や放課後の危険な行為について、地域の方や保護者の方からもご連絡を頂くことがあるのも事実です。そのような場面を見かけた際には、ぜひその児童に声をかけていただき、学校へご一報いただければと思います。児童への安全指導に生かしてまいります。また、校内の安全教育に係る環境整備についても今後も継続してまいります。

◎その他

- ・他校に転任した教員に戻ってきてもらいたい。
- ・ある教員の子供に対する好き嫌いが顕著。
- ・市内の他校では、担任が暑い時期にベランダで児童を正座させていたと聞いた。体罰としか思えない。
- ・給食のメニューを考え直してほしい。よく噛んで食べられるもの、魚メインで旬の野菜が食べられるもの。給食でアイスやケーキを出す必要はない。体は食べたものでできることは学校から家庭に伝えていくべきだと思う。
- ・プリント類の誤字脱字が多いと感じる。特に日時等のミスは致命的ではないか。

- ・ 参観日等の保護者が参加できる行事の日程を変更するのなら、1 か月以上前に教えてほしい。
- ・ 中学校の PTA 本部役員のため、行事が重なると小学校の方に行けなくなる。

⇒ 日頃より、本校教職員に対して温かなお声がけを頂きますこと、本校の教育活動にご支援ご協力を頂きますこと大変ありがとうございます。そのような中で、本校教職員に対して、不快な思いをされている方がいらっしゃるということにつきましては、深く受け止め、今後同じような思いをされることのないよう、教職員研修等で資質を向上させてまいります。他校の事案につきましては、他校とも情報を共有し、本校で同じような事案が起きないようにしてまいります。

給食のメニューにつきましては、学校給食法や文部科学省から示されている学校給食摂取基準に基づき、適切な栄養価が摂取できるように決定しています。決められた価格の中で様々な食材を取り入れ、季節を感じたり、食べる喜びを感じたりできるよう工夫しています。また、外部講師を招いての授業や担任と栄養教諭による食に関する授業を多く取り入れるなど、本校は食育にも力を入れています。

お手紙等の中の誤字脱字につきましては、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。今一度チェック体制を見直してまいります。行事の日程変更につきましても、判明した時点で、メールでお知らせするなど、迅速に対応してまいります。また、校区内の中学校(幸手中学校)とも連携を取り、大きな行事が重ならないようにしてまいります。